

シンポジウム

# 印日関係の現状と将来

日本企業のインド進出をめぐる課題と対応  
並びに印日両国におけるインド人労働の課題と機会

参加無料 | 先着50名 | 日本語開催

日時 | 2026年3月11日（水）  
時間 | 13:00～15:30（受付：12:30～）  
場所 | 東京国際フォーラム（会議室G402）

## テーマ『印日関係の現状と将来』

インドと日本の架け橋として長年活躍し、日本研究・日本語教育・技術産業分野で幅広い功績を持つ Dr. Ashok Kumar Chawla 氏を迎え、インド進出を検討する日本企業が注意すべきポイントや、成功の鍵となる視点をわかりやすく解説いただきます。さらに、日本国内でインド人材を受け入れる際に押さえておくべき文化・人事面での重要事項についても、豊富な事例をもとにお話しいたします。

加えて、日本のHRM研究を牽引してきた早稲田大学名誉教授・国土館大学大学院客員教授 白木三秀 氏と、グローバル人事の最前線で活躍する 穂積慎一 氏（パナソニック株式会社）による特別パネルディスカッションを開催し、「インドと日本人・組織はどう連携すべきか？」という実践的テーマを、学術×実務の両視点から深掘りします。

インドビジネスの未来、人材活用のヒントが凝縮された、貴重な学びと交流の機会です。ぜひご参加ください。

### 登壇者



講演者 **Ashok Kumar Chawla** / Delhi Policy Group.  
Senior Fellow for India-Japan Security Studies

インドで戦略・国際課題を扱う非党派シンクタンクデリー政策グループ（DPG）の印日安全保障研究シニア・フェロー。CSIRで国際部門を統括し、日本語翻訳・通訳と科学技術情報交換を推進。2017～2025年3月はインド外務省（MEA）日本担当顧問として、政治・戦略・防衛・経済・文化で日印関係強化（Act East Forum等）に貢献。40年以上教育・研究に携わり、現在も立命館アジア太平洋大学（APU）・東京国際大学で客員教授として尽力。



パネリスト **白木 三秀** / 早稲田大学 名誉教授  
国土館大学大学院 客員教授

専門は労働経済学、社会政策および人的資源管理。  
多国籍企業における人的管理制度の国際比較研究を中心に、アジア諸国の労働政策・人材マネジメントを分析している。  
日本労務学会（元会長）/国際ビジネス研究学会（元会長）に所属し、国際的視点から企業の人的資源管理の課題を研究している。



パネリスト **穂積 慎一** / パナソニック株式会社 オペレーショナルエクセレンス社  
組織・人材開発カンパニー コーポレートL&D部 部長

1993年、パナソニック株式会社入社。国内BtoB営業部門、北米地域本社でのトレーニー、BtoC事業部門、コーポレート本社、BtoB事業部門、海外市販マーケティング本部を歴任。一貫して人事領域でキャリアを築く。雇用構造改革・拠点集約の断行、処遇制度改革（役割等級制度）・タレントマネジメントの推進・グローバルコンピテンシーの導入、M&Aで買収した北米企業とのPMI推進などを担当。その後、社内カンパニーのグローバル人事担当と海外市販マーケティング部門の人事責任者を経て、2021年10月より現職。

【お申し込み先】 参加ご希望の方は、以下のフォームまたはQRコードからお申し込みください。

<https://forms.office.com/r/xsagLY89pM>

締切日：2026年3月6日（金）

主催：株式会社BREXA CrossBorder（✉ [ILR-bcb@brexa.com](mailto:ILR-bcb@brexa.com)）

本事業は、厚生労働省から株式会社BREXA CrossBorderに運営を委託しています。



**BREXA**  
CROSS BORDER